

---

令和5年 第2回 高千穂町議会定例会会議録(第4日)

令和5年6月14日(水曜日)

---

議事日程(第4号)

令和5年6月14日 午前10時00分開議

日程第1 一般質問

---

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

---

出席議員(13名)

1番 藤田 利廣議員	2番 田中 義了議員
3番 佐藤さつき議員	5番 板倉 哲男議員
6番 磯貝 助夫議員	7番 本願 和茂議員
8番 中島 早苗議員	9番 馬原 英治議員
10番 坂本 弘明議員	11番 工藤 博志議員
12番 富高健一郎議員	13番 富高 友子議員
14番 佐藤 定信議員	

---

欠席議員(なし)

---

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局長 須藤 浩文	書記 興梶 貴
----------	---------

---

説明のため出席した者の職氏名

町長 …………… 甲斐 宗之	副町長 …………… 藤本 昭人
教育長 …………… 戸敷 二郎	総務課長 …………… 有藤 寿満
財政課長 …………… 興梶 貴俊	総合政策課長 …………… 戸高 雄司
税務課長 …………… 谷川 保孝	町民生活課長 …………… 甲斐 利一
企画観光課長 …………… 安在 浩	福祉保険課長 …………… 霜見 勉
農林振興課長兼農業委員会事務局長 ……………	佐藤 峰史

農地整備課長 …………… 江藤 武憲                      建設課長 …………… 甲斐 徹  
会計管理者 …………… 伊藤 徳子                      病院事務長 …………… 綾 浩樹  
保健福祉総合センター所長 …………… 興梠 晶彦  
上下水道課長 …………… 湯川 哲  
教育委員会次長兼教育総務課長 …………… 林 謙一  
監査委員 …………… 中尾 清美

---

午前10時00分開議

○事務局長（須藤 浩文事務局長） 皆様、おはようございます。御起立をお願いします。一同、礼。

〔起立・礼〕

○事務局長（須藤 浩文事務局長） 御着席ください。

議長の許可を得ていますので、暑い方は上着をお取りください。

○議長（坂本 弘明議員） これから、本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

---

#### 日程第1. 一般質問

○議長（坂本 弘明議員） 日程第1、一般質問を行います。

なお、質疑をされる方は、町長の最初の答弁以降については、質問の内容に応じ、答弁者を指名して質疑願います。

最初に、本願和茂議員の質問を許します。質問席に登壇願います。

○議員（7番 本願 和茂議員） おはようございます。それでは、通告に従いまして、質問を始めます。

件名については、第81回国体開催と連携した振興策についてであります。

昭和54年、1979年本県で開催された日本のふるさと宮崎国体以来、48年ぶりに国体・国民スポーツ大会が4年後の2027年、令和9年に宮崎県で開催される計画となっております。

大会スローガンは「紡ぐ感動 神話となれ」と掲げられ、本町では剣道競技が行われます。本町は、名勝、高千穂峡を有する日本屈指の観光地であるとともに天孫降臨の地、数々の神話が残る町であり、大会スローガンの言葉とは切っても切り離せない関係性や縁があるものと考えます。また、国体には常に天皇皇后両陛下が開会式に御臨席されており、天孫降臨の地とされる本町はほかの自治体と比べても皇室との関わりは特別なものがあると考えております。

令和2年・3年についてはコロナ禍で開催地に天皇皇后両陛下が御臨席にはなっておりません

が、それまでは現在の上皇上皇后両陛下が御在位中、国体開催地には欠かさず御臨席になり、開会式でお言葉を述べられ、地方事情を御視察されている経緯がございます。

直近では、令和3年に行われた第35回国民文化祭・みやぎき2020及び第20回全国障害者芸術・文化祭みやぎき大会開会式において、オンラインで赤坂御所から御臨席いただいた記録が残っております。

実際に宮崎県へ天皇皇后両陛下がお越しになられた記録は、平成16年の第55回全国植樹祭と平成7年の第15回全国豊かな海づくり大会となっております。

しかし、平成7年は宮崎市、日南市、串間市の県南に、平成16年は宮崎市、西都市、綾町の県央のみとなっております、式典会場から離れた県北へは一度もお越しになられたことはございません。

その理由は空港からの交通アクセスが悪い、高速道路が整備されていないなどの状況が考えられますが、平成7年、平成16年からすると高速道路も飛躍的に延伸し、現在は当時とは比較にならないほどの状況であります。

2027年の国体開催時にはさらに交通網整備が進んでいると考えられるため、地方事情の御視察がなされる方向性が示されれば、天孫降臨の地、高千穂町はいち早く準備を進める必要があると考えます。

本町はそれだけの由緒ある町だと思いますが、町長・教育長はどのように思われているのか伺います。

また、実現に向けてどのようなスケジュールを立て、行動・アクションを起こす必要があるのか、近隣自治体、県や関係機関とどのように連携するのか具体的に伺います。

1点目に、2010年平成22年、秋篠宮御夫妻が御訪問になられた経緯とその際の対応は。

2011年平成23年の新嘗祭献穀献納式にて新米や栗を献納できた経緯は。

3点目に、宮崎県SAP会議連合が1962年以来、みかんの花を皇室に献上しているが、高千穂町SAPの現状は。

4点目に、開会式で神楽を奉納する準備とアクションについて。

5点目に、高千穂神社、天岩戸神社を参拝していただく必要性と関連づけについて。

最後に、高千穂牛のPRと提供方法について伺います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長、登壇願います。

○町長（甲斐 宗之町長） それでは、本願和茂議員の御質問にお答えいたします。

初めに、「第81回国体開催と連携した振興策について」の御質問のうち、「2010年平成22年、秋篠宮御夫妻が御訪問になられた経緯と、その際の対応」についてであります。平成22年8月1日から5日にかけて開催されました、「第34回全国高校総合文化祭」の総合開会

式に御臨席後、熊本へ向かわれる途中、県内を御視察されながら高千穂神社、天岩戸神社を御参拝後、高千穂峡を御見学されておられます。

高千穂神社では、当時の町長・議長がお出迎えし、宮司が先導されながら拝殿に入られ、神楽を御覧になられております。

天岩戸神社では、本殿裏の遥拝所から御神体である対岸の天岩戸を御覧になられ、宮司の説明をお聞きになられております。

高千穂峡では、真名井の滝や鬼の力石周辺を御覧になられ、当時の町長から説明をお聞きになり、秋篠宮御夫妻と佳子様とで記念写真をお撮りになられております。

次に、「2011年平成23年、新嘗祭献穀献納式にて新米や栗を献納できた経緯」についてですが、新嘗祭は天皇がその年に収穫された新穀などを天神地祇に供えて感謝の奉告を行い、これらの供え物を神からの賜りものとして自らも食される儀式であり、毎年11月23日に宮中三殿の近くにある神嘉殿にて執り行われる儀式です。

献納できた経緯といたしましては、宮崎県が主体となり県内を7つの地区に分けた輪番制で、担当地区となったその中の市町村で協議を行い、割り当てているようです。

平成16年には日之影町が、平成23年には高千穂町が、平成30年には五ヶ瀬町が献穀をいたしております。

次に、「宮崎県SAP会議連合が1962年以来、みかんの花を皇室に献上しているが、高千穂町SAPの現状」についてですが、SAPは県内の青年農業者で構成され、会員自らの学修と実践の積み重ねによって、魅力ある農業経営を確立するための活動を行っており、現在、高千穂町SAP会議は7名で活動しております。

令和3年度第60回全国青年農業者会議の畜産部門において、「全国農業青年クラブ連絡協議会会長賞」を受賞した会員もいるなどの活動実績もありますが、会員の大半がそれぞれの農業経営体の中心となり活動の時間が取れないこと、コロナ等で思うように活動ができなくなったことなどから、現在、活動は低迷しておりますが、引き続き、新規会員の勧誘活動や自給飼料の研究・夏季大会への参加などの活動に力を入れております。

本町としましても運営補助を行うなど、後押しをするための環境整備に努めてまいります。

次に、「高千穂神社、天岩戸神社を参拝していただく必要性と関連づけ」についてですが、平成22年8月に秋篠宮御夫妻と佳様が高千穂町を訪問され、高千穂神社や天岩戸神社を参拝していただきましたが、高千穂小学校の緑の少年団や、岩戸小中学校の生徒、高校生をはじめ、多くの町民の皆様がお出迎えされ、沿道でも旗を振られる方々が切れ間なく続いていた様子を思い出します。

当時、私は広報担当でありまして、写真撮影をさせていただきました。

ここ、天孫降臨の地、神都高千穂で生まれ育ち、神話伝説に触れながら生活をされている多くの町民の皆様にとって、天皇皇后両陛下をはじめ皇室の方々が皇祖発祥の地高千穂町を訪問していただくことはとても嬉しく、喜ばしいことであり、多くの元気をいただき、生きがいを感じる方々もいらっしゃると思います。

県の国民スポーツ大会準備室へ皇室関係の来県情報などをお聞きしましたが、関連する情報はいただけませんでした。基本は、陛下の意向が優先され、宮内庁や警備の都合で多くが決められ、来県されても県庁所在地の宮崎空港のみを利用されるとのことです。

今後、県や様々な方の知恵やお力をお借りしながら、できれば天皇皇后両陛下に来町していただけるような働きかけを行ってまいりたいと思いますので、議員の皆様のお理解と御協力を賜りたいと存じます。

以上、答弁いたします。

○議長（坂本 弘明議員） 教育長、登壇願います。

○教育長（戸敷 二郎教育長） それでは、町長に引き続き本願和茂議員の御質問にお答えいたします。

まず、「第81回国体開催と連携した振興策について」の御質問のうち、「開会式で神楽を奉納する準備とアクション」についてですが、令和4年7月14日に開催された日本スポーツ協会理事会において、第81回国民スポーツ大会・宮崎県大会開催の内定を受け、宮崎県準備委員会では、令和9年9月22日から10月5日までを第1案とし、総合開会式を都城市で、剣道競技を10月2日から4日までの3日間、高千穂町武道館で開催する予定としております。

県国民スポーツ大会準備室によりますと、総合開会式及び剣道競技の開会式においては、共に時間の都合上アトラクションなどの時間を取ることは難しいとのことです。

昭和54年の第34回宮崎国体のときには、国見ヶ丘で採火式が行われており、神楽の奉納も行われたようですので、大会関連イベントなどでの開催も含め、今後、大会準備室などへの働きかけを行ってまいります。

次の、「高千穂牛のPRと提供方法」につきましても、関連イベントなどで広くPRしていきたいと考えておりますが、会場周りに出店ブースなどを設け、全国からおいでになれる皆様に日本一の高千穂牛を、高千穂らしいおもてなしで味わっていただければと思います。

今後、具体的な準備を進める中で詳細を決めてまいりたいと存じます。

以上、答弁いたします。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 前向きに働きかけを行っていくとの答弁をいただいたところではありますが、なお一層、質問した内容が実現するように再質問を行ってまいりたいと思います。

まず、教育長に頂いた答弁から触れさせていただきたいと思います。

総合開会式は、都城市で行われ、本町で行われる剣道競技については10月2日から4日の大会終盤で行われるということでありました。

総合開会式は、地元自治体のアトラクションや伝統芸能や文化の披露が優先されるのかもしれませんが、県からの時間の都合上、難しいとの回答は聞き入れながらも、神楽奉納については諦めずに働きかけをしていただきたいと思います。

理由としては、先ほども述べたとおり、大会スローガンが「紡ぐ感動 神話となれ」と掲げられておりますので、神楽を奉納し、神話に触れることから大会が幕開けしてほしいという思い。また、国の重要無形民俗文化財に指定されている宮崎県の神楽は4つしかなく、その中でも本町の夜神楽保存会が最も多く指定を受けているからであります。

県を代表し本町が神楽を総合開会式で奉納することは、使命感すら感じる申し分のないことかと思えます。大会関連イベントでの開催も含めて、大会準備室へ働きかけるという答弁でありましたが、もう少し具体的に教育長の思いと働きかけ方をお聞かせください。

○議長（坂本 弘明議員） 教育長。

○教育長（戸敷 二郎教育長） 本願議員の御質問にお答えしたいと思います。

今、お話をいただきましたことは、私も同じように感じております。答弁で申し上げましたように、本町での剣道競技開催のスケジュールの中での神楽というのはもう時間的に余裕がないということで、これはもうどの競技もそうだと思います。ですので、議員おっしゃるとおり、総合開会式での神楽奉納といたしますか、神楽の披露といたしますか、そういったことは十分働きかけをしていきたい。例の東京オリンピックでも、知事のほうが強分力強く神楽のことをおっしゃっていたという記憶がございますが、議員おっしゃるとおり、絶好の機会でありますので、力強く県のほうにも働きかけをしていきたいと考えているところです。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） そういった思いはどこの自治体も同じかと思えます。五ヶ瀬町についても荒踊が今回認定されておりますので、同じような動きをしてくる可能性もございますので、積極的に進めていっていただきたいと思います。

この点については、神楽の奉仕者でもある町長にも同様に働きかけをしていただきたいと思いますので、町長の思いもお聞かせください。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

私も高千穂にももちろん、天皇皇后両陛下来ていただきたいと思いますという思い、そして、この宮崎国民

スポーツ大会で神楽奉納できればという思いは強く思いました。

県のほうの、この大会の全体のスケジュールの中に入れ込むことはなかなか難しいという回答であったようですけれども、県関係者も含めて、その当日ではなくても前夜祭とか、そういったイベントを開催していただくということも可能なのかなとも思いますし、県の回答としては、例えば、剣道競技の前日、前夜祭セレモニー的に町で単独でやられることについては構わないと思います。というような回答もあったと聞いております。ただ、選手がそれに参加をするということになったときには、選手のスポーツ競技に臨むスケジュール感と気持ちの作り方の中で、そこに参加していただけるかどうかというのはまた別の問題になってくるのかなとも思いますけれども、関連イベントとして町単独でそういった場を作るという、発信する場を作るということも可能なのかなと私は考えているところです。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 絶好のチャンスでありますから、しっかりチャンスを逃さないように発信をしていただきたいと思います。

次に、教育長から答弁をいただいたんですけれども、高千穂牛のPRと提供方法についても再質問したいと思います。

全国からおいでになられた皆様に、日本一の高千穂牛を高千穂らしいおもてなしで味わっていただけるように、今後、具体的な準備を進める中で詳細を決めてまいりたいとの答弁をいただきました。

この件については、大会までまだ4年あるため、じっくりJA等の関係機関と協議を重ねていけばよりよい対応ができると私も考えておりましたが、一つ心配する点がございまして。それは、北海道で行われる第13回の全国和牛能力共進会が同時期に重なっているということでもあります。

開催時期の最終決定は11月ごろとなっているようですから、動向にしっかり注視していただいて万全な体制を構築して、日本一の高千穂牛をPRしてほしいと思います。この点については、整備や調整・準備等については担当課が最終的に所管することになるかと思っておりますので、農林振興課長に伺いたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（佐藤 峰史課長） 高千穂牛のPRと提供方法についての御質問にお答えいたします。

これまでも、高千穂の公式LINEとかで高千穂牛のプレゼントキャンペーンをやったり、あと、各種イベントへ高千穂牛の提供などを実施してきております。

先ほど、本願議員からの指摘のとおり、ちょうど第13回の全国和牛能力共進会と時期がかぶ

るのではないかということですので、そういうことを前提にPR方法、それから提供方法も事前にJA関係機関と連携を図りながらPR、それから提供に工夫を凝らしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 全国47都道府県から剣道競技に、選手、そしてそれに随行される方がどの程度、人数が来られるのかまだ把握はできておりませんが、かなりの人数の方がお見えになられると思いますので、そういった方にしっかりと高千穂牛のPRをしていただきたいと思います。

せっかく取った日本一の称号でありますし、長年培われたたゆまぬ努力の結果でありますから、しっかり高千穂牛のPRをする絶好のチャンスでもありますから、逃さないようにしていただきたいと思います。

それでは、町長からいただいた答弁についての再質問に移りたいと思います。

平成22年の秋篠宮御夫妻、佳子様の御訪問、平成23年の新嘗祭献穀献納式の経緯については詳しく答弁をいただきましたが、どちらも、こちら側から働きかけを行い、来町や訪問、献納が実現したのではないということが分かりました。

皇室の行事にお招きいただくことや、訪問の候補地として選ばれることは非常に光栄なことであり、今後も機会があれば、答弁で述べられたように皇祖発祥の地である本町に来町していただけるように、他の自治体よりも真っ先にアピールと準備をする必要があると考えております。

平成16年の第55回全国植樹祭は西都市で開催されましたが、本町での開催に向けて当時、働きかけや誘致活動もあったと聞いたことがございます。当時の状況や本町での開催が実現しなかった要因について、町長が御存じであれば分かる範囲でかまいませんので、お伺いしたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

そこら辺りについては私も中心的に関わっておりませんでしたので、その経緯については私のほうからはちょっと答弁が難しいというところでございます。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 議員の中にはもう何期もされた方がおられますので、そういった方のほうがよく御存じなのかなと思った、私自身もそう思いました。そして、監査委員の中尾さんが一番この中で経験も長いので、聞いたほうがいいのかとちょっと迷いましたが、担当外



なので御質問はしませんが、かなりその県議会議員の方とも協力をして誘致活動に働きかけをしたみたいですしけれども西都市に負けたということで、悔しい思いをされたようであります。

そういったことがないように今回この質問をして、働きかけを強めたいということで、今回、登壇させていただいております。

秋篠宮御夫妻、佳子様をお出迎えした当時の議長がここにもおられます。富高健一郎議員でございます。また、佐藤定信議員におかれましては、平成26年であります、赤坂御苑で催された春の園遊会に高千穂町議会議長として招待を受け、天皇皇后両陛下、現在の上皇上皇后様をはじめとする皇室の方々と会話までされた経緯がございます。

定信議員から当時聞いたお話では、全ての招待者と天皇皇后両陛下が会話をする時間は決してなくて、招待者が都道府県ごとに並んでいるわけではない、ランダムに招待者が並んでいる前をお通りになられる中で、奥様と2人の前で足を止められて「高千穂町ですね」とお声をかけてくださり、会話までしてくださったようであります。

平成22年の来町、そして平成23年の新嘗祭と連続して皇室と関わりがあったため、立ち止まりになられてお言葉をかけていただいたのかもしれませんが、私は高千穂町という町が皇室にとっても身近であり、つながりが深いとさせていただいていると考えております。

天孫降臨の地であり、神話が色濃く残る本町で長く暮らす町民なら誰しも皇室とのつながりを感じていると思いますが、町長はいかがお考えでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

高千穂町は、私を含め高千穂町民は、この天孫降臨の地高千穂は天皇家のふるさとだというふうに思い、誇りに思っているというふうに感じております。

私の曾祖父も高天原遥拝所近くに高千穂建碑を、高千穂顕彰碑を建てて皇室をお招きをして、それを強く発信をするんだというような思いを持っておりましたので、私もその意思も引き継いでそのように強く感じております。どのような形で、なかなか皇室の皆様にも動いていただくためには、直接声を届ければそれが実現するというわけでもないというようなことも県のほうからもお話も伺っておりますけれども、やはり、声を上げていくことが大事だというふうに思っておりますので、ぜひ高千穂町にお立ち寄りをいただく機会が、このときは宮崎空港から入って宮崎空港から出るというようなことになろうかと思っております。

秋篠宮様のときは、熊本空港に向かわれる途中だったということがございますので実現したのもと思っておりますけれども、本願議員の御質問にありましたとおり、交通の便も大変よくなっているということ考えたときに、可能性としてはゼロではないのかなというふうに思っておりますので、あらゆる人、また、機関を通して声を上げていきたいというふうに感じております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 町長のみならず、多くの町民がそのように思っていると思いますので、引き続き働きかけることが大事でありますし、そういった思いを強めることが大事でありますので、しつこいようではありますが、まだちょっと再質問のほうを続けたいと思います。

ちょっと視点を変えまして質問しますが、コロナ禍、様々な行事が自粛や中止を余儀なくされましたが、神楽や神社などの神事についても例外ではありませんでした。

しかし、コロナが第5類に移行が決まってからは自粛ムードも緩和され、高千穂神社では4月16日に春季例大祭が催行され、4年ぶりに高千穂峡おのころ池にて身を清める浜下りと町中心部を余興隊などが練り歩く御神幸が行われました。また、天岩戸神社においても5月2日に例祭の式典、5月3日には4年ぶりに東本宮と西本宮を往復する御神幸祭が催行され、大いににぎわったところであります。

4年ぶりの御神幸祭がにぎわいを見せた背景には、令和2年に神話の時代以降初めて御神体天岩戸にしめ縄が張られたことも大きな要因かと考えられます。

昨年、一昨年も張替えが行われ、毎年冬至の日に張替えを行い、新たな神事として伝えられることとなっております。

令和9年第81回国体開会式に天皇皇后両陛下が御臨席し、地方事情を御視察される御意向が示されれば、ぜひ本町に来町していただき、天岩戸神社にて遥拝所から天岩戸を御参拝いただきたいと考えております。また、両陛下には神職最高位の長老となられた高千穂神社後藤宮司の先導の下、高千穂神社の御参拝もしていただきたいと思うところであります。

答弁では、県や様々な方の知恵と力をお借りして来町していただけるように働きかけるということではありましたが、現段階では両陛下の御意向がない中でどの程度、町長はアクションを起こす気になっておられるのか。くどいようですが改めてお伺いいたします。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

現時点では、具体的なアクションは起こしている状況にはございません。質問の中にございましたけれども、神社庁の中で長老の称号をいただいております高千穂神社の後藤宮司をはじめ、そういった人脈等も活用させていただきながらお声を上げていく以外にはないのかなというふうには私は今、考えているところであります。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 秋篠宮様がお見えになられてから年月が経っておりますので、

皇室の方々にしっかり見ていただいていたほしい場所や事柄、様々たくさんありますので、何としても働きかけを強めたいという思いであります。

先ほども述べましたが、天岩戸のしめ縄を張替える神事は、昨年で第3回となりますが、茶道家にある献香献茶式、演武「祓いの太刀」の奉納、音楽家と篠笛演奏家による奉納演奏、振付家・舞踏家による奉納演舞、書道家による奉納揮毫、高千穂高校弓道部による鏑矢奉納、天岩戸神楽奉納、そして以前から行われておりました、岩戸に見立てた壘を投げて距離を競う、岩戸投げ大会も行われる。天岩戸神社の新たな年末の年中行事となっております。その中で、御神体天岩戸のしめ縄張神事を任されたプロ登山家竹内洋岳氏は、登山愛好家としても知られる天皇陛下とも御親交があられる方の方であります。そのような本町と御縁ができた著名人の方のお力もお借りして、両陛下の来町を実現に近づけることができないかと神社関係者の方々も希望を抱かれています。改めて、町長の考えを伺いたしたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

確かに、いろんなあらゆる人脈を活用してというふうに考えておりますけれども、御質問いただいたのをお聞きして、私も一緒に登山をされたりとか、竹内さんの話ですけれども、その話も以前お聞きしたことがございます。その辺りも公的なルートではないかもしれませんが、あらゆる人脈を活用してと、あらゆるルートを活用してということを考えれば、そのようなところから人を頼って、そういう思いが高千穂町としてはありますよということをお伝えする一つの方法かなというふうに感じたところであります。ぜひ、今回御提案いただいた内容については参考させていただきまして、今後の取組につなげていきたいと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） これらのことが振興策につながるのかと思われる方もおられるかもしれませんが、先ほど答弁でありましたように、町民が元気をもらえる、そして、活力をもらえて生きがいを見いだせるのであれば、高千穂町の振興策になると考えておりますので、しっかりと働きかけをしていただきたいと思います。

天皇皇后両陛下に来町していただく機会を本当に頂けるのであれば、高千穂町のあらゆる振興に結びつくであろうし、答弁では本当に言われたように、嬉しく喜ばしいことでもありますし、先ほども述べましたが、多くの町民が元気をいただいて生きがいを感じることができると思っています。

年齢を重ねるたびに、私も天皇陛下をはじめとする皇室の方々に一度はお目にかかりたいと思っております。天岩戸伝説神話ゆかりの地として2021年の東京五輪聖火リレーも出発の地に高千穂

町が選ばれた経緯がございます。有名人への観光大使委嘱による本町PRも大変有効な手段だと考えております。今後も、引き続きありとあらゆる分野や視点から本町の発展と振興につながる施策を考え、この先、子供たちが大きく成長したときに、生きがいを感じてこの町で住み続けたいと思える高千穂町であってほしいと皆が願っております。振興策の話から少し飛躍しますが、最後に総括としてその本町の発展と振興、そして町長はどのようにそれらを捉えられているのか総括としてお聞きしたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 本願議員の御質問にお答えいたします。

高千穂町の発展、活気をつくる、住み続ける、人口維持していくというところについては、やっぱり住んでいる高千穂町民の皆様がこの高千穂に誇りを持っていただくということが大変大事だと思います。その中において、お話しになった有名芸能人の皆さんもこの高千穂を愛し、高千穂に何度も来たいと思っていただいている、風土であったり人も含めてですけれども、そういうようなところをお話を聞くと、我々高千穂町民も大変嬉しく、そんなすばらしい魅力あるところなんだということを改めて感じるわけであります。そこが高千穂町民の誇りにもつながります。また、併せて今回御質問にありました皇室、天皇皇后両陛下をはじめ、皇室の皆様がこの高千穂町を自分たちのルーツだと思っていただいているだろう、あるいは、そのようなことも含めて何度も来ていただくことができれば、さらに町民の皆さんの高千穂町民としての誇りの醸成につながるというふうに思います。それが、高千穂町をさらに活気ある町として未来につなげていこうという町民の皆さんの意識にもつながりますし、我々行政としても、それをどう実現していくかという新たな施策をどんどん打っていく、そういった原動力にもなろうかと思いますので、ぜひとも実現に向けて動いていきたいと強く思ったところでございます。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 本願和茂議員。

○議員（7番 本願 和茂議員） 今回の私の質問は、ほんの一かけらといいますか、何かにつながるというアクションでありますので、改めて、天岩戸神社関係者の方々が町長のもとに直々に働きかけの要望に伺いたいとおっしゃられておりましたので、その際はしっかりと対応をお願いしたいと思います。

我々議員も、本町発展につながることであれば全力で協力いたしますので、共に働きかけを強めたいと思います。

以上で質問を終わります。

○議長（坂本 弘明議員） 続いて、田中義了議員の質問を許します。質問席に登壇願います。

○議員（2番 田中 義了議員） 議席番号2番、田中です。2年前のこの定例会で、磯貝議員が

楠並木の質問をされました。詳細な資料を示されて感激しました。傍聴席でそのときは聞いておりました。選挙に急に出ることになったんですけれど、そのときに下のパン屋さんのところから出てきた車と、私が上から下ってきた自転車とぶつかりそうになって、たまたまその軽自動車ももっと手前で止まればよかったんですけれど、頭まで出してきたもんですから、自分で倒れざるを得なくて、ちょっと高価な眼鏡を壊したことを思い出しました。

また、今年の4月6日の日に、雨の中を自転車を飛ばしてしまして、あまてらす鉄道の橋の上の楠木の根元で転倒いたしまして、日にちが葉だと思って病院にも行かず頑張っていましたけど、逆にやっぱ80の坂を越えるとだんだん悪くなってくる。そういう、むち打ち症候群も出ておりますので、ちょっとボケた話も出るかと思えますけど御承知してください。

今、本願議員は高千穂出身でないのに皇居との関係を述べました。皆さんと情報を共通に持つておきたいことがあります。というのは、紀元は2600年のときに、高千穂町を中心にした写真コンクールの写真集と、その式典が終わった宮中の旅館の人がわざわざ出張みたいな形で高千穂にお見えになりました。

そのとき案内されたのが、町長の曾祖父の甲斐徳次郎さんです。その旅館の人は帰ってから、和歌集を編みました。写真と和歌、数十集あったんですけれど、その本とその先に述べた写真集、コンクールのやつ2つを西川功先生の倉庫から見つけました。

それで一冊は、写真集は持っておりますけれど、歌集のほうは、内藤記念館に泊まれたんですよ、そのときに。それで、高千穂を主体にお見えになりました。

あと、北川の上稜と青島に行かれたそうです。

高千穂では、天岩戸では天岩戸の写真が撮られておりました。また、くしふる神社と国見ヶ丘では、甲斐徳次郎先生が案内しておられました。その歌集のほうはちょっと高千穂のコミセンじやどんなになるか分からないからと思って、内藤記念館のほうに寄贈しました。当時、野々下という観光部長さんがいらっしゃって、親しくしていたのですが、もしなんらかのあれがあったら、それこそ本願くんの意思に沿うように、その歌集のあれですね、また手に入れたいと思っております。そのときはよろしくお願ひしたいと思います。

少し前置きが長くなりましたけれど、私の4つの質問をさせてもらいたいと思います。

最初から3つ目までは、もう定例会の都度私は質問しておるものです。なぜかという、町長は賢い稼ぎ方をしたいと言っていますが、この3つは全然賢くないんですよ。ということで、前提でからお話していきたいと思います。

まず、まちづくり公社の運営等について、同公社の社長として、町長として、令和4年度決算をどのように分析しているか。

確か議会では、指定管理者では、また町長なら同じの運営方法になってしまうんじゃないかと

というようなことを指摘してしまして。また、同公社のふるさと納税、道の駅、鬼八の蔵の各部門の損益状況をお尋ねいたします。

ふるさと納税の運営の在り方を、今後どのように考えているかというのは、先に、高級品から日用品に趣向が変わってきているという話もありました。それはもう全国的に同じ条件なんですよ。それでも儲かっている。儲かっていると言ったらおかしいですけど、増収のところもあります、なぜか。そういうのを分析されているかということでお尋ねするわけです。

2番目は、鉄道跡地公園化事業計画についてです。

町広報4月・5月号の同計画の詳細な説明資料が掲載されておりました。なぜ、報告会が終わったの資料、あの、説明の資料を提示するのか、事前にやるべきではなかったか。

今回、上水道課では水道料の値上げについて、昨年2月に議員に紹介したときはまだ雑な資料でした。ところが今年は、自前の資料を作って、しかも事前に広報で町民に周知しました。皆様もこれに倣うべきじゃないかと私は思っております。したがって、何のためにこれが載せられたのか、高千穂鉄橋の定期点検3,850万となっていますが、令和5年度予算額で1,800万ぐらいだったと思います。その相違についてお尋ねしたいと思います。

3つ目は、小水力発電施設の工事進捗状況です。

議会から付帯意見として、早急に処理しないと物価の値上がりがあったりしますということで質問が、質問というか意見が付託されております。

私はその当初のスタート時点のことを分からないもんですから、令和4年度までの関連事業費を含んでの総額は幾らぐらいの工事費になっているかを知りたいと思います。

そして、令和5年度の執行状況は。既にもう発注もされているところもあるかと思いますが、早め早めにやっていただきたい。というのは今、集中豪雨をはじめ全国的に震度5以上の地震が各地で発生しております。したがって、早めに稼働させないと、途中で終わったら身も蓋もないと私は思っております。尻を叩いてもいいですから早めに実行していただきたい。そうすると、地域の住民の人たちも恩恵を受ける、早く恩恵を受けるわけですよ。そういうことで、今年度の予算の執行についてお尋ねします。

それから、土呂久の畑中の落石防止工事関係ですけど、何も資料も説明がなかったんですけど、901万ですか、計上されております。私はその建設現場の近くの落石防止じゃないかと推測したわけです。それで、関連事業なのかをお尋ねいたします。

昨年の台風14号災害で、大人の発電所なんかはずっと蓋をして、長く長距離というか10キロぐらいは蓋がしてあるという話もあったんですけど、それでも土砂の流出になったそうです。そういうことで、その、上寺用水路の取水口から導水管までとか、その下流の蓋はどうされているのかなということでお尋ねしたいと思います。

4つ目、一番私の主張したいのがこの4つ目なんです。3つ目までは、少しか、何とか、足を引っ張るような話ばかりしております。歩廊化の話の代わりに、私は岩戸のおばちゃんが台風14号のときに避難先で、トイレが水洗化されてなくて困ったと、そのときに歩廊化よりも水洗化だろと言われたというのを、口づてに聞きました。私もそう思います。

それで、じゃあどうするんだと、ふるさと納税が増えれば一番いいんですけど、ふるさと納税がなかなか増収になりづらいというような考えを持っております。じゃあどうするんだ、それで高千穂温泉もそのままになっておりますので、高千穂温泉のリフォームで美術館を造ったらどうかというような考え方を示して、私は最初、県のほうにお願いしようと思ったんですよ。でも、みすみす収益性の高い木のおもちゃ美術館を県に取られるよりも、町自体でやったほうがいいじゃないかと。歩廊化でもし、鉄橋が重要文化財に指定されると手がつけられないんです。改造ができないんですよ。そのときに備えて、この美術館を町でやる。もしあれだったら民間企業にやらせてもいいと思います。そういう考え方で提案したいと思います。町長の考えを聞かせていただきたいと思います。

以上。

○議長（坂本 弘明議員） 町長、登壇願います。

○町長（甲斐 宗之町長） それでは、田中義了議員の御質問にお答えいたします。

初めに、1件目の「高千穂まちづくり公社の運営等について」の御質問のうち、「同公社の社長として、町長として令和4年度決算をどのように分析しているか」についてであります。現在、今月6月29日に公社の取締役会を予定しております。そのときに最終決算の報告を行うこととしており、現在、取りまとめや資料作成等を行っている途中であります。現在、2月までを取りまとめたものが直近の数字であります。ふるさと納税を含めた全体の目標額、これは令和2年度の実績であります。2億7,995万3,000円に対し128.6%となっており、決算も期待をしているところであります。

次に、「同公社の各部門別の損益状況」についてであります。これも2月までを取りまとめたものが直近の数字であります。物産事業部のうち、レストランを含めた道の駅の目標額6,645万6,000円に対し151.3%、がまだせ市場鬼八の蔵が、目標額4,627万7,000円に対し119.8%、ふるさと納税部門が目標額1億76万4,000円に対し102.7%となっており、全体で目標値を上回っているところです。

しかしながら、ふるさと納税部門におきましては、あくまでも令和2年度の実績による目標額であり、収入予算額の2億円には達していないため、さらなる努力をしております。

損益につきましては、本社がマイナスの226万円、物産事業部がプラス808万6,000円、ふるさと納税部門がプラス543万8,000円、全体で1,126万4,000円

のプラスとなっており、各部門ともに委託料の精算が残っておりますが、最終的には黒字の決算となる見込みであります。

次に、「ふるさと納税の運営の在り方を今年度どのように考えているか」についてであります。令和4年7月より、まちづくり公社にふるさと納税業務の多くを委任しておりますが、現在の業務は本庁からの出向職員1名と、公社の専任職員1名、兼務職員1名で行っております。

現在、急速冷凍機を導入し、高千穂フローズンと呼んでおります冷凍食品の開発など、新たな返礼品開発を飲食店や生産者のもとへ頻繁に通いながら共に進めております。また、生産者などの顔が見える魅力的なホームページ作りにも取り組んでおります。

4年度は、物価高騰により返礼品の主流が日用品へシフトしたことに十分対応できなかったことなどにより、寄附額が昨年度を下回っておりますが、こうした反省に立ちまして、目標の寄附額に一步でも近づくよう、引き続きまちづくり公社において取り組んでまいります。

また、町としましても公社と連携を図りながら、制度の主旨に沿った適正な事業運営を行ってまいります。

次に、2件目の「高千穂鉄道跡地公園化事業計画について」の御質問のうち、「町広報4月・5月号の同計画の説明掲載の意図は何なのか」についてであります。2月に行いました町民向けの説明会は、全6会場で実施いたしましたが、出席された方は128名でした。出席できなかった町民の皆様に周知をするには、全世帯へ配布される町広報が有効であることから掲載したところであります。

次に、「高千穂鉄橋の定期点検3,850万円となっているが、令和5年度予算額との相違と工事等の契約状況はどうなっているのか」についてであります。令和5年度当初予算に計上しております橋梁点検につきましては、高千穂鉄橋を健全に維持管理するために劣化損傷の状況を把握し、必要な対策を実施するための基礎データの収集を目的に、各部材の亀裂やさびの状況などをロープアクセス、これはロープにぶら下がっての点検になりますが、それにより実施するものであります。現在、実施設計書、特記仕様書の作成が完了し、6月8日に指名競争入札を行ったところであります。

一方、基本計画にて計上しております定期点検3,850万円につきましては、先ほどの5年度当初予算の橋梁点検に加え、高千穂鉄橋に計画しております歩廊化部分・テラス部分・電線ケーブル等の点検及び高千穂駅から高千穂鉄橋までの5橋全てをロープアクセス・点検車・高所作業車などにより点検をするための経費を計上しているものであります。

次に、3件目の「小水力発電施設の工事と進捗状況について」の御質問のうち、「令和4年度までの関連事業費を含んでの総額はいかほどか」についてであります。小水力発電施設整備に関連する事業費につきましては、ヘッドタンク等の土木構造物工事及び発電機器、水車等の工場



製作費が令和3年度から4年度までの2か年で1億1,308万円。基本設計・詳細設計・用地測量及び支障木伐採・工事用道路開設等の委託費が令和元年度から4年度までの4か年で1億569万5,831円となり、令和4年度までの関連事業費の総額は2億1,877万5,831円であります。なお、委託費と工事費の一部につきましては、県費補助の対象となっております。

次に、「令和5年度の予算執行はどうなっているか」についてであります。現在、令和4年度繰越工事により取水口からの導水路、ヘッドタンク部、管路、固定台設置などの構造物工事を行っております。令和5年度予算につきましては、発電所建屋と電気工事の発注準備を行っており、6月末を目途に水車、発電機、制御盤、除塵機の搬入・設置の契約を行い、構造物工事と建屋・電気工事の進捗状況により随時設置・接続していく予定としております。また並行して、九州電力への再生エネルギー発電施設電力販売申込を4月に完了し、経済産業省への事業認可手続を九州電力と協議しながら進めており、令和5年度中に事業認可をいただけるよう努力してまいりたいと存じます。

次に、「土呂久の畑中地区の落石防止工事予算は同施設の関連事業なのか」についてであります。御質問の畑中地区落石防止工事の予算につきましては、建設課所管の町道岩戸・土呂久線法面对策工事の費用であり、当事業との関連はございません。

次に、「昨年の台風14号災害で用水路に土砂流入が多く、そのために用水路に蓋をする防災工事等が進められているが、同施設の利用する用水路の対策」についてであります。当施設が利用する上寺用水につきましては、河川の入取れ口から整備箇所までの区間において、多面的機能支払交付金を活用し、土砂流入等の恐れのある区間につきましては、蓋の設置がほぼ完了しており、昨年の台風14号におきましても用水路山側法面の崩落はありましたが、蓋の設置により水路閉塞はありませんでした。

また、当施設の整備におきましても、落ち葉や砂利等の流入を未然に防止するため、スクリーンや除塵機を設置し、併せて監視カメラによる管理により、緊急事態にも対応できる体制づくりを構築しておきたいと考えております。

次に、4件目の「木のおもちゃ美術館の建設・運営について」ですが、徳島県の木のおもちゃ美術館は、平成31年2月16日に開催された、「全国木育サミットin徳島」を契機に、徳島県内の木育関連施設のネットワーク化により、木育の取組をさらに発展させるため、赤ちゃんから高齢者までの全世代が徳島の木を丸ごと体感できる、木育の中核施設として徳島県が建設し、運営しております。

林業の振興には、住宅建材などへの積極的な利用が必要であります。全世代の方に木材を身近に感じていただき、生活に取り入れていただくためには、「木とふれあい、木に学び、木でつ

ながる」という木育の趣旨は重要であり、私も木のおもちゃ博物館はすばらしい施設であると考えております。

美術館、博物館など文化施設の整備は、町民のニーズを把握した上で進める必要があります、費用対効果、ランニングコストや入場者数のシミュレーションなどの検証も必要であると考えております。

現在、町民の皆様方から高千穂中学校や子育て支援センター、中央公民館、図書館、老人福祉館など老朽化した教育、福祉関連施設の整備要望がございますので、町民のニーズの把握や事業の優先順位を見極めながら適切な施設整備を実施検討してまいります。

以上、答弁といたします。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 親切な答弁ありがとうございます。まず、公社の運営状況ですけど、ふるさと納税の目標額が令和2年度の実績額と言われました。

ところが、高千穂町行政財産改革大綱、平成4年度から8年度までの目標額では2億円になっているんですね。ずっと私たちは2億円で聞いておりました。一昨年度の実績の約18%か、そういうような増になっているという話ですけど、本来の目標額は2億円じゃなかったんでしょうか、町長。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 田中議員の御質問にお答えいたします。

予算上、私も目標としては2億円というところを目標に定めておりましたが、まちづくり公社が運営を始めるに当たって、まずはというところの目標に定めておりましたが、令和2年度の実績でございましたので、その観点から答弁をさせていただきましたが、目指すところは2億円というところが町としての目標と把握しております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 令和5年度は目標額は幾らに定めているんでしょうか、公社として。町としては3億円なんですかね。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。町としては、予算としての目標は2億円というふうに定めておりますので、公社としても目指すべきところはまずは2億円というところで考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 2億円、3億円、5億円までＣＯＯという最高責任者を連れてきて、経営を任せてという話だったんですよね。町長の言葉の行政報告の中でもＣＯＯの話が全然出てきていないんですよ。今現在どうされているのでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。現在は、新商品の開発、また、業績を上げるための民間事業者との対話、この辺りを含めて実績を上げるために尽力をさせていただいております。

毎月、様々なイベントを開催したり、その辺りの働きかけもやっていただくということで一生懸命動いていただいていると認識しております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 南町の事務所ですけど、赤字に200万円ぐらいになっております。町長の前の回答では、あそこはにぎわいを作り出すところですよという話でした。でも全然にぎわっておりません。というのは、子供たちの展示品を展示しますというチラシも入ります。でも、駐車場は歩道のところ含めて3台分ぐらいしか置けないんですよ。駐車場は限定されております。しかも、土曜・日曜・祝日は休みですって書いてチラシを配っているんですよ。交代交代で出て、その町民の話相手でもいいから、お茶を出してもいいからやってほしいと私は思いますが、町長どう思いますか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。現在は、公社の事務所という位置づけであるため、どうしても土日の対応についてはそれを補う人員の確保が必要かというふうに思います。現在のところは、やれる範囲で対応しているということでございますが、そういった御意見もあるということについては受け止めさせていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 例えば、駐車場が足りなければ神和タクシーとか元ギオンパチンコの駐車場とか、今國旅館の駐車場を借りるような知恵が出ないのでしょうか。

高千穂の人間、私は自転車ですけど、ほかの人は大体がマイカーです。駐車場がないところにぎわいが創設できるとは、つくり出せるとは思いません。議会でも、鬼八の蔵のほうでやったという意見を出しましたが、全然無視されました。本当ににぎわい創出をする予定ですか。それとも、もう維持管理費を何か借損もあります。家賃もあります。そのコストダウンを図るためには、やはり鬼八の蔵辺りに持っていくべきじゃないでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。事務所機能を発揮するためにはそれなりのスペースが必要でございますけれども、鬼八の蔵の今の事務所のスペースではとても対応するのは難しいというふうに考えております。新たな投資が出てくるということを考えたときには、現在の場所が適正ではないかというふうに考えております。

にぎわい創出という意味では、将来的に新しく業を起こす起業を支援するような体制づくりも今後考えております。そういったところで、そういった皆さんが集い、意見交換をするような場所ということでそれも含めて、にぎわいづくりを創出したいというふうに考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 南町事務所に防犯テレビの画面を事務所に設けてという話でしたが、土曜・日曜・祝日休みだったら、一番の万引きしやすい日にちじゃないでしょうか、曜日じゃないでしょうか。防犯テレビ、現場で見えるようにできないんでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。それぞれの事務所の中にはテレビがありますので、それを見ることは可能ですし、また、リモートでも見ることができるというふうに聞いております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 時間の配分上次にまいります。あっ、もう一つ、会社から派遣された社員が一人、去年から、外国から来るからとかという話でから遅れていた話聞きましたけど、今現在、先ほどの報告では1名会社から出向していますという話でしたが、本当に出向しているんでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。先ほど答弁した出向職員1名というのは高千穂町役場からの出向職員が1名だということの、先ほどの答弁はなります。

情報発信部門で外国からという方については、ビザの許可が下りたということで、近々事業を委託する形で入られるというふうに認識しております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 先ほどの町長報告では、会社から派遣されているというようなあれでした。町長に言っておきますけど、公社は株式会社なんですよ。町役場の職員じゃないん

ですよ、もう。出向した人も社員なんですよ。言葉の表現ちょっと気をつけていただきたいと思っています。

株主総会が今後行われて、そこで決算関係もいろんなＣＯＯの決算上賞与関係も分かりますので、議会室にその財務諸表関係の提出をお願いしたいと思っています。

次の問題に移ります。

高千穂鉄道跡地公園化なんですけど、鉄橋の話は前回のときも言いました。この点検は必ずやらないと、事故が起こった場合の責任間の問題が出てくるだろうということで指摘しました。財政課でやるべきじゃないかという話で、総合政策じゃないだろうと。そうしたらほかの道路を渡る５つの橋とか、トンネルとか、そういう工事はまた来年からやるような話を聞いておりますので、必ずやってほしいと思います。予算化してほしいと思います。

高千穂鉄道は、今、鉄道の鉄橋の文化財的な価値、あれは建設当時、初めての新しい工法で造られたやつなんですよ。だから耐用年数も分からなかったというような新しい手法でやった鉄橋なんです。

私のおじも鉄道に勤めていましたので、あそこの上で刈干切唄を歌いました。そういう懐かしい思い出もあります。ぜひ、残しておいてもらいたいと思います。したがって、もし文化財になったら歩廊化じゃなくて、先ほど、昨日提案していました板倉議員の提案されたようなことも考えて動いてほしい、また、最後のほうに言いますが、美術館で儲けてほしい、私は思っているのはふるさと納税もそうです。ということで、高千穂鉄道については、まずは文化財に指定されるかどうかの問題があると思いますので、決まった段階でまた、質問させていただきます。

３つ目ですけど、小水力発電施設の工事の進捗状況ですけど、これは半導体の関係や物価上昇の関係があって遅れていると思います。でも、私は、平成１７年でしたかね、畑中地区と南地区の死傷者が出た災害がありました。そのときに私は、災害の翌々日ぐらいに土呂久まで出かけました。マイカーで。道も分からないのに。

その当時、自衛隊はじめ、福岡県警の北九州ナンバーのバスまで来ておりました。

そういう事故が起こった場所なんですよ、畑中っていうところは。私は、南地区に同級生の家があったので駆けつけたんですけど、そういう土呂久地区というのは、災害の発生のしやすい、その前にも塩井の宇曾でもありました。だから、その選定を間違っていたんじゃないかと思ったんですけど、今にして先輩議員に聞いたら「あれは上寺用水路の人のために作ったんだ」と、だから先日、工藤議員が総括質疑しました揚水ポンプの電力量の問題です。私はそういうものを使うだろうと聞いていたんですよ。そしたら、上寺地区だけ岩戸の、特定の地域のためだけにやるという話を聞かされました。町長、今からほかの用水路でもそういうふうにしてやっていかれるんでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。小水力発電につきましては各地で、例えば五ヶ瀬であるとか、日之影のほうでも取組がありますがけれども、要は一番のあそこを選んだ理由は、そんだけの水が確保できて落差の関係で十分に収益事業とできるかという場所の選定をした結果、あそこが高千穂町でまず取り組んでみるモデルとして条件が最適であったというところでございます。

その計画のシミュレーションについては、宮崎県の企業局にも協力をいただき、現地を見ていただき、様々な角度から検討した結果、あそこが最適だったということでございます。ほかの用水組合と土地改良区等においても、そういった発電に使えて用水路の維持管理等に使えるだけの十分な電力が売電できて、収益が上がるということになれば可能ではあるんですけども、なかなか全ての用水の施設組合について、そんだけの条件が整ったところがないというところが実情でございます。全ての用水組合等でそういった類似の事業をやっていくというのは、なかなか条件的に難しいかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） ここで、11時半まで休憩します。

午前11時20分休憩

.....

午前11時30分再開

○議長（坂本 弘明議員） 休憩前に引き続き、会議を再開します。田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 発電施設については、私は全然知らなかったんですよ。上寺用水路だけと、農業遺産で高千穂郷の山腹用水路をいかにして保存するか、その一手段としてやられていたんじゃないかと思ってたわけです。したがって、もし、ここで成功したら、ほかの場所でもそういうことができるんじゃないかと、いうことがあれば積極的にやってもらいたいと思います。

まずは、この発電事業を成功させてほしいと思います、私は。リスクも考えないといけません。人災・天災、天災が特に最近多いですから、そういう進捗状況を進めてもらいたい。付帯意見でもついております。ぜひ、物価高だけじゃなくて、いろんな要素が、リスクがあります。早め早めに事業は終わるべきだと私は思っておりますので、付け加えておきます。

4番目の木のおもちゃ美術館の話ですけど、私たち文教厚生委員会が徳島県に行きます。徳島県営の美術館です。県の担当者の方が来てから、親切に案内・説明してくれました。というのは、その人の部下に高千穂の前田菓子屋の縁者がいますという話だったんですよ。ええと思いました。まさかと。そういうこともありまして、なおさら興味津々と私たちは受け取りました。しかも、

1年間ぐらいで10万人の人たちが来ている。先日、テレビでは東京の檜原村だか、あそここのころのあれも4万人ぐらい来ているという話も聞かせております。

帰ってきて、その視察から帰った後、佐藤県議に聞きました。そしたら既に福岡の美術館を視察しておりました。私は、県営でやってもらいたいと最初思いました。金を高千穂は使いたくないと、それで支庁長にもお願いに行きました。森林組合長にもお願い行きました。そういうわけで、と思っていたんですけど、いやこれは町営でやったほうがいいんじゃないか、もし、高千穂鉄橋が重要文化財になって指定されますと、次の金の儲けのためには、まずは美術館を作ったらということなんです。

私の考え方を少し述べさせてください。

高千穂温泉を高千穂の算出された杉丸太辺りでリフォームをします。インターチェンジが折原葛原のほうに出来上がると、すぐ降りてから福岡県、熊本県あたりからの北九州からのお客さんも乗ります。

高千穂は、昔から神話の里ですけど、自然の景観だけで飯を食ってきていました。子供の遊び場がないんですよ。県南にひなもり台があります、小林に。

県央に、川南に森の遊学館があります。延岡では、青少年の家がむかばきにあります。高千穂というか、西臼杵郡には、そういう施設が全然ないんです。よく、観光客に言われます。今は、あまてらす鉄道ありますから、ある程度子供さんも遊べます。でも、ボートは乗れない、神社まわりだってもう子供は嫌だという話なんです。それで、美術館を造って0歳児から老人までという話なんですけど、子供たちを高千穂で遊ばせて、それで高千穂の未来人口にしたい、していただきたい、私は思っております。高千穂高校の剣道留学も少なくなりました。宮崎日大、日章学園であちらのほうに取られています。したがって、この美術館を造ることによって大人と子供が遊べる、しかも遊んでいる間、ふれあいバスの利用して各高千穂の国見ヶ丘とか、二上山とかのシャクナゲとか、それとか上岩戸辺りまで30分コースみたいな形でもいいですから、貸切バス10人、20人乗りぐらいで動かしたらいいんじゃないかと思っております。しかも、今年の4月、私は温泉の周りの桜を見てまいりました。高校の桜、普及センターの桜、温泉の桜、吾平の桜、たくさん桜があるんですよ。したがって、桜を記念植樹させる。そして、あそこの尾根筋の周りに谷筋がありますけど、田んぼ田畑があります。遊んでいる土地も遊休田もあります。そこから辺りを、中山間地域支払制度かあれを利用して荒れた所、田んぼを植えた終わったあと、レンゲ田とか、そういうのを地域の住民の人たちに、その予算を使ってやったら、そうするとふるさとの原風景が見られると思います。

少し長い期間にかかるかと思いますが、みんなが喜んでくれるんじゃないかと。もし、私はもう高千穂鉄橋が重要文化財になるだろうと確信しております。ぜひ、その代わりに、板倉議員

の提案もありましたけど、美術館では維持管理は出ます。でも、上下水道の利用料金も収入で上がります。そして、ボランティア学芸員という制度があるんですね。高千穂は先生の、昔先生だった人もたくさんいます。ふれあいバスを通して、行き帰りをしてもらおう。そうすると、ふれあいバスも利用者が増えます。そうすると値上げもしなくても済むようになるんじゃないかと思っております。私はふれあいバスの運転手さんたちがあそこにマイクロバスを停めております。休むところがないんですよ。だから、そのボランティア学芸員が、徳島の場合は250人いました。高千穂では100人ぐらいはいるんじゃないかと思っております。そういう人たちが休むティールームみたいなのを作ってあげたら、そして、いろんな人のサロンみたいな形にすればと思っております。将来は、中学校も近くに設置してもらって、文化施設も設置してもらって、一大そういうゾーンにしてもらったらいんじゃないか。

それで、一つ町長に苦言を呈しておきたいんですけど。

先日、4月の三田井東公民館の総会がありました。そのときに町長が来て挨拶されました。町長が来て挨拶されるということはめったにないんです。県議はありました、緒嶋県議、佐藤県議も。でも、その挨拶がちょっと的外れしていたんじゃないかと思っております。

気配り・目配りが足りないんじゃないかと思いました。それはみんな、部下の人たちのあれもサジェスションもあるかと思えます。

言います。1つ、なんで吾平、東地区の三田井東で挨拶されたか。

町長はずっと昔吾平に住んでいました。土地勘もあります。それに、九州中央道路のトンネルが病院の北のほうから民宿春芽の下を通して、またそのトラックの土の搬出関係とか、なんかで迷惑かけますということもあると思います。しかも、目の前の吾平店の、源太の吾平店がありますけど、あそこの前の分譲地を11個分作るのに山を崩します。

そのときの土の搬出なんかもあります。そういう迷惑をかけること、しかも日向灘地震で断水が吾平で起こったんですよ。迷惑をかけましたことを一言ぐらい地区に言ってほしかったと。しかも、三田井東地区の人たちは水辺の公園、高千穂碑の周りの整備をしておられます。挨拶で、ありがとうございますというような言葉をかけてほしかったと、私は思っております。まだほかにもあるんですけど、そういうことを気配り目配りをして、挨拶もしていただきたい。

まずは、私はなぜ東地区の公民館のあれに行ったかということ、地区の人たちをお願いしたかったんです。尾根筋の周りが、それこそレンゲ畑なんかやるのにも地域協定かなんか結ばないといけません。それは、地元の人たちをお願いしないといけない。三田井地区、東地区だけでなく浅ヶ部地区あたりも巻き込んで動いていただきたい。

○議長（坂本 弘明議員） 田中議員、質問事項から逸れていませんか。

○議員（2番 田中 義了議員） いやいや、それで、里山歩きもしたんですけど、そういう美術



館を造っていただきたいと思いますが、町長の御考えを聞かせてください。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 田中議員の御質問にお答えいたします。

私も実は、佐藤県議とともに福岡のおもちゃ美術館のほうを視察させていただきました。そのときに美術館の雰囲気、あるいは有償ボランティアの皆様が協力があって運営ができているというところも把握させていただきました。入場料等も見たときに、高千穂でどれだけの集客ができるのかというところを基に、採算が取れるのかどうかというところはよく検討してみる必要があるかと思います。

この木のおもちゃ美術館のすばらしさ、木育にも相当いい効果が出そうですし、木の利用、木材の利用を促進するための啓発、こういったところにも有効だというふうに考えております。

本格的に導入を検討するのであれば、その採算性がどうかということ、そして誘客がどれほどできそうなのか、そこはしっかりと検討する必要があると思いますけれども、御提案については受け止めさせていただきたいと考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） この事業は、PFIになじむんじゃないかと私は思っております。

来週ですか、勉強会・研究会が設けられるみたいです。やはり、身近ですぐにできるようなことを先にやってほしい、36年先の政策よりも、私は総合政策課を「すぐやる課」に変えたいという思いを持っております。

先日も、高千穂の町の中で子供が下水口の蓋で転んでけがしました。そういうことを、すぐ蓋を直すとかできるような町にさせていただきたい。したがって、36年という先の話よりもっと10年先、20年先を見据えて仕事をしてもらいたいと思います。

しかも、職員が少なくなっているせいか、担当者1人の仕事になってしまっている面もあります。もっとみんなで議論してやっていただきたい。私たちは議員なんかも一人一人ですけど、互いに指摘しあったり、議論しあったりしております。そういうような雰囲気づくりをして、こういうような事業をやっていただきたいと思います。

町長の今後のそういうシステムづくり、どう思っているかお尋ねして、最後の質問といたします。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 田中議員の御質問にお答えいたします。

鉄道公園化構想を含め、様々な事業の計画については担当者が前に出ておりますけれども、そ

の課内で様々に議論を重ね、その間には我々とも「これでどうでしょう」という議論は進めながら対応しております。ですので、今の体制の中で様々に職員間の、また、我々とも議論を重ねながら、どれが一番ベストなのかというのをしっかりと意見を交わしながら施策を前に進めていけるように取り組んでいきたいと考えております。

以上です。

○議員（2番 田中 義了議員） 以上、質問を終わります。

---

○議長（坂本 弘明議員） 以上をもちまして、本日の日程は全て終了しましたので、これにて散会します。

○事務局長（須藤 浩文事務局長） 御起立をお願いします。一同、礼。

〔起立・礼〕

午前11時46分散会

---